



【教育目標】自ら考え 判断し 明日を創る子どもの育成

学校報 梵天

E-mail ouchi-es@edu.city.yurihonjo.akita.jp
<http://www.city.yurihonjo.lg.jp/edu/ouchi-es/index.html>

由利本荘市立大内小学校 校長室から
令和8年10月8日 No. 23

令和8年度 前期終了です

本日、10月8日（木）、前期の終業式を行いました。どの学年も、行事や学習を通してたくさんの体験的な活動や学び合いを積み重ねてきたことが、一人一人の心の成長につながっていると感じています。子どもたちの成長を支えてくださった保護者や地域の皆様のご協力に、心から感謝申し上げます。また、安全な登下校へのご協力もたくさんいただきました。大きなけがや事故なく、前期を終えることができました。本当にありがとうございました。

さて、明日から4日間の秋休みになります。今日、子どもたちは前期の通知表を持ち帰ります。「通知表の見方」を参考に、お子さんのがんばりをたくさん認め、後期のやる気につなげていただけたらと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



前期終業式 児童の発表から

☆ ぼくが前きの生活でよくがんばったことは、あいさつです。一人一人にやさしいあいさつができるように気をつけました。前よりもやさしいあいさつをして、あい手をうれしい気持ちにすることができたと思います。これからもつづけていきたいです。前きの学習でがんばったことは、国語の音読です。ぼくは、ついはいやく読んでしまうので、ちょうどよいはやさで、聞きやすく音読することをがんばりました。それに、字をていねいに書くこともがんばり、六月のせき書大会では、こうひつの部で金しょうをとることができてうれしかったです。また、算数では、三けたのひっ算のけいさんで、一つの位ごとによく考えて計算しました。おかげで、まちがいが少なくなって、計算がもっととくいになりました。後きにがんばりたいことは、集中してしっかり考えて学習に取り組むことです。なぜかという、勉強中に小さい声でかんけいのないことを話してしまうことがあるからです。よくお話を聞いて、はっぴょうもがんばっていきたいです。(2年 正木 **)

☆ ぼくが前期にがんばったことは、四つあります。一つ目は、みんなと交流し合うことです。みんなと交流し合って考えを広げたり深めたり、次の勉強で参考にしたりすることをごんばりました。二つ目は、前の勉強を生かすことです。算数のわり算のときなどは、前の勉強を生かして解くことをごんばりました。三つ目は、手をあげて発表することです。考えを思いついたらすぐに手をあげて発表をして、交流と同じように考えを深めてごんばりました。四つ目は、委員会活動の話合いや当番の仕事をごんばりました。話合いのときには、提案をして、みんなの話合いを広げることがごんばりました。当番のときには、本を返したり借りたりなどの仕事して、人が少ないときは、本の返却期限が過ぎている人に呼びかけたり、本の整とんや飾りつけを手伝ったりしてごんばりました。また、図書館に新しく入った本やおすすめの本の紹介を、*君と一緒に考えて練習することをごんばりました。ぼくが後期にがんばりたいことは二つあります。一つ目は、男子女子関係なく交流をすることです。前までは、仲良しの人や男子ばかりと交流をして、先生が言わなければ女子とは全然交流をしていなかったの、後期は男子女子関係なく関わりたいです。二つ目は、次の授業の準備です。前期は、ギリギリに準備をしたり、他の人たちにやってもらったりして、時間に間に合わなかったことが多かったの、後期は休み時間に遊びたくても、次の時間の準備をしてから遊びに行きたいです。(4年 菊地 *)

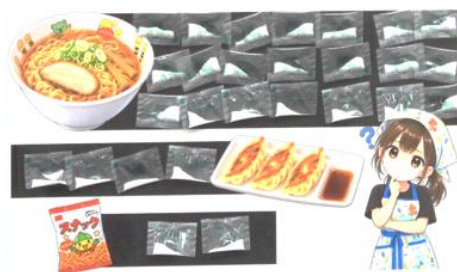
☆ 私の前期の目標は、二つありました。一つ目は低学年のお手本になれるような六年生になること、二つ目は、リーダーとしての立場を考えて行動することでした。一つ目の低学年のお手本になれるような六年生になることでは、朝学校に登校したとき、校長先生や挨拶運動をしている人たちに、良い挨拶を心掛けました。みんなのお手本になれるようにと、毎日ごんばりました。良い挨拶というのは、相手も自分も嬉しくなるような挨拶のことを言います。そんな挨拶が自分はできたと思います。そう考える理由は、いつもバスで登校してきて、私を先頭にみんなバスから降りてきたとき、私が元気に挨拶すると、みんなも元気に挨拶してくれたからです。それを見ると、私も嬉しくなりました。二つ目のリーダ

一としての立場を考えて行動することでは、運動会でそれを発揮できたと思います。放送委員会で放送をすることが決まったときはすごく緊張したけれど、それと同時に「よし！そうと決まったら、今までにない、みんなと一緒に盛り上げられるような放送をしよう」と思いました。本番は本当に緊張して、すべての力は出し切れなかったかもしれないけれど、行進の放送が終わったとき、近くにいる先生方にほめてもらえて、目標を達成することができ、放送をすることが楽しいなと改めて思いました。そして、運動会の花形、応援合戦では、自分のセリフを大きな声で言うことができ、みんなで盛り上がったのでよかったなと思いました。運動会は、私を一步リーダーに近づけてくれたと思います。そして、目標とは関係ないかもしれないけれど、修学旅行では、クラスのみんまで行くことができ楽しかったし、より結束力が高まったと思いました。六年生といえば「修学旅行」と思っていたけれど、実際は、六年生といえば「全校を引っ張っていけるようなリーダーになることが、今は合っているかな」と思っています。

後期の目標は、前期の目標にもう一つ付け足そうと思います。その目標とは、学習や話し合いなどの意見を交わすとき、自分の考えだけでなく友達の見解と比べたり、この人の考えはここが良いなどの良いところを見付けたりすることにしたいと思っています。その目標にする理由は、今まではこうするとうまくいく、こうすればもっといいなどの意見は、自分の考えではなく、答えのあるようなものから引っ張り出してきただけでしたが、それでは、全然意見を交わすということをやっている意味がないと思い、いろいろなやり方、考え方を聞いて、深め、それを次に生かす、ということが大事だと思ったからです。これからも、学校のリーダー・六年生としてがんばりたいと思います。(6年 佐々木 **)

「塩」のお話（食育）

9月28日（月）、栄養教諭の丸山先生が、1・2年生を対象に「塩」についてのお話をしてくださいました。「そるとくんがラーメンやさんにいったよ」というお話をPPで紹介してくださり、実際にどのくらいの塩が入っているのかを可視化してくれました。子どもたちは、その量の多さに驚き、学校の給食のラーメンやインスタント麺と比較する質問をしたり、「これから気を付けて食べるようにしたい」「お家の人にも教えたい」というような感想を話していました。こういった食育の場が、ふだんの食生活を見つめ直す気持ちにつながっていきます。



4月からの半年間、保護者や地域の皆様のご協力を得ながら、無事に前期を終了することができました。ありがとうございました。後期もこれまで同様、ご支援、ご協力をお願いいたします。

4日間と短い期間ですが、安全で事故のない楽しい秋休みを！